

令和5年度 普天間小学校の取り組み

1 研究主題名

コミュニケーション能力を育む指導の工夫

～伝え合おうとする積極的な態度を喚起する活動の実践を通して～

2 研究主題設定の理由

本市では、小学校英語教育課程特例校事業として、「児童生徒の生きる力の育成及び国際化の時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むこと」を目的とし、各小学校において英語教育を実施している。本校では、HRTとALTのティームティーチングによる指導を行い、児童も英語の時間を楽しみにしており、意欲的に参加している。

授業では発達段階に応じた語彙の獲得や挨拶、簡単な日常会話のスキル、歌やゲームなどを通じた楽しい英語に加え、学校行事や他教科と関連させたクロスカリキュラム的な方法で外国語への興味関心を高めてきた。しかし、このような活動だけでは与えられた形式をただ声に出しているだけで、思考力をあまり働かせなくてもできてしまう。また、語彙の獲得に個人差が見られることも課題として挙げられてきた。そこで、児童が潜在的に持っている「友達と気持ちを伝え合いたい」という積極的な態度を喚起する授業の工夫を本年度も継続して行うことで学びの質を向上させ、語彙の獲得やコミュニケーション能力の素地の育成につなげていく。さらに、伝え合おうとする積極的な態度を喚起する言語活動の充実を図り、相互交流のあるやりとりを工夫することで、児童の外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地を育成する。

そこで、本年度は様々な指導法や体験的な活動を通しての言語の習得を行いながら、英語に親しみ身近な日常会話の場の設定ややりとりの工夫を行っていく。本校では、ゴールを見据えたプランニングを作成している。授業計画の段階からHRTとALTが連携して単元ゴールを設定しモジュールステップで小単元のゴールを設定しコミュニケーション能力の素地の育成を目指している。また、授業内だけでなく休み時間や給食時間、クラブ活動等においてもALTとの関わりを通して日常的に英会話を楽しむ児童を育てていきたい。本年度もこれまでの成果をベースにして、積極的にコミュニケーションを図り、伝え合おうとする積極的な態度喚起する活動の実践を目指していきたい。

3 研究の主な内容

(1) 目標

【低学年】

◎英語に触れる。

- ・歌・リズム遊び・ゲームなどの活動を通して、英語のリズムやイントネーションを体で感じとり、楽しく英語に触れる。
- ・英語をよく聞き、進んで発話する。

- ・行事やイベントを通して、外国と日本との文化の違いに気づき、外国のことに興味や関心を持つ。

【中学年】

◎基礎・基本の習得活用を図る。

①聞くこと

- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。

②話すこと〔やり取り〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。

③話すこと〔発表〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

【高学年】

◎基礎・基本の習得活用を図る。

①聞くこと

- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。

②読むこと

- ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。

③話すこと〔やり取り〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。

④話すこと〔発表〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

⑤書くこと

- ・大・小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

(2) 指導方針・方法

- 毎週金曜日に英語ミーティングの時間を設け、事前に英語の授業の流れを担当と ALT で確認し、授業がスムーズに行えるようにする。ALT と授業の流れや、各学年の発達段階に合わせた、語彙やターゲットセンテンスを確認する。
- 放送委員と連携し、登下校時の校内放送や、運動会などの学校行事に英語を取り入れる。
- 同じ ALT が一年を通して指導することで、互いに信頼関係が培われ、英語を積極的に話すことができるようにする。
- 日常的に外国語に触れられるよう、学級の掲示物を統一して曜日、気持ち、名前、天気 の受け答えがだれでも教室で練習できるよう工夫を図る。

4 本年度の取り組み

各学年の取り組み

1年



英語の歌を聞き、踊りながら各体の場所を触り、耳で何度も聞き、声に出して、次第に覚え歌いながら練習している様子。



グループで協力しながら、体を使ってアルファベットの形を作っている様子。

2年



ハロウィンを通して外国の行事に親しみ、ダンスやゲームに取り組む様子。



英語で色の名前を言う学習のアクティビティとして、colorのすごろくゲームに楽しく活動に取り組む様子。

3年



自分の好きな物や色などを友達とやりとりしながらお互いで伝え合っている様子。



What do you like?を使って先生とやりとりしながら好きなことを発表している様子。

4年



お気に入りのパフェを作り、ペアでインタビューをしている様子



タブレットを使ってお気に入りのパフェを作っている様子

5年



じゃんけんゲームで勝った人が単語を言い、陣を取るゲームの活動の様子。



頻度を表す言葉を知りじゃんけんで勝った人が文章で答える活動の様子。

6年



グループ同士でスピーチの発表を聴き合い、評価を伝えている様子。



既習事項の内容でクイズを行い、グループで協力して理解を深めている。

Lesson Plan Grade5

Topic : Lesson 7-1 I` d like pizza.

Goals of this class : To be able to order and take orders at a restaurant.

Target vocabularies: I`d like OOO. main dish, salad, drinks, soup, deserts

	学習活動	第 2 時 (Monday/November 11th, 2023)
Warming up(5)	1 Greeting/Rules/ Daily Questions 2 Phonics 3 .Review	1. Classroom rules 2. Phonics/Alphabet: Guess what is the word. 3. Let`s do the relay by team: Where do you want to go? I want to go to Osaka. Why? I want to see/eat/buy/enjoy.
Activity(30)	めあて達成の活動 4. Small Talk ↓ (デモンストレーション) 5. Today`s Aim (めあて) 6. Activity1(Sub Activity) Introducing and Practicing New Words & Phrases 7. Activity2 (Main Activity) -Keyword Game Students: “What would you like?” HRT/ALT: “I` d like OOO.”	4. Small talk: Guess what`s today`s goal. HRT: Hello! My name is ~. I`d grilled fish, tuna salad, miso soup, parfait and melon soda. ALT: Hello! My name is Hazel. .I`d like steak, salad, miso soup, cake and green tea. 5. めあて : Watch the video and learn how to order at a restaurant. 動画を見て、レストランでの注文の仕方を知る。 6. -Let`s Watch Let`s watch the video and think what they are talking about. And know how to order at a restaurant. レッツワッチ(Text 80-81) 動画を見て、レストランでのメニューの注文の仕方 や、注文の受け方を知ろう。 7①. -Practice New words Check out the new words and key phrase of the unit. What would you like? キーフレーズ、新単語の練習 単元のキー ②-Keyword Game フレーズを確認して、単語の練習。 Make a pair and put 1 eraser in the middle. Repeat with ALT/HRT I`d like ~, if the key word was mentioned grab the eraser.
Conclusion(1)	めあてと正対したまとめ 8. Wrap-Up まとめ・振り返り 9. Closing the Class	8. Please do the wrap up. ● Please open your file and let`s write todays comment. ● Any comments? 9. Class leader lets finish. ALT/HRT: 1,2 Thank you very much see you next time goodbye.

5 研究の成果と課題

(1) 成果

低学年

- ・復習を毎時間行うので、野菜や果物等身近な物の単語が定着し、ゲームを通して、お友達と関わりながら楽しく英語に親しむことができた。【1・2年】
- ・ゲームやダンス等活動を通して、楽しみながら意欲的に英語覚えることができ、ジェスチャーを用いながら、簡単なやりとりを友達と行うことができた。【2年】

中学年

- ・教科書やゲーム、タブレットなど、いろいろな学習教具で、楽しく授業に参加できていた。友達へのインタビュー等の活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿が見られた。【3・4年】
- ・伝えたい言葉をタブレットで調べ、グループで3ヒントクイズをすることができた。また、ALT や友達の英語を理解しようと前後の言葉から推測する意欲的な態度が見られた。【3年】

高学年

- ・学んだ事柄について、簡単な英語でやり取りができた。【5・6年】
- ・アルファベットに興味を持ち単語集めができた。グループで英語のロールプレイを積極的にする姿がみられた。【5年】
- ・外国の人に日本の良さを伝える単元では、実際に外国の方に紹介する機会があったので、伝えることに意欲をもって活動に取り組むことができた。【6年】
- ・スピーチテストを、色々な形で取り組み（グループ発表や個人発表）、教師だけではなく児童同士でも評価をつけることで、伝え合おうとする態度や学習の振り返りも充実した。【6年】
- ・ALT との打ち合わせでは、単元ごとに活動内容を確認することで、見通しを持って授業に臨むことができた。【全学年】

(2) 課題と解決策

課題	解決策
●形成テスト（名前、気分、天気、曜日）では、全ての項目に受け答えできた児童が半分以下だった。（1年）	☆英語の時間は週に一回しかないので、授業がある曜日しか定着していない。学級で、他の曜日にふれる機会をつくる。（1年）
●英語の学習に自信が持てない児童がおり、センテンスではなく、単語のみの活動に終始している児童がいる。（2・3・4年）	☆児童に、覚えたセンテンスをデモンストレーションしてもらい聞く活動を作る。繰り返し活動を行い、目的・場面・状況の設定の工夫をして、表現に慣れ親しませる。（2・3年） ☆既習事項の復習を設定し、チャレンジタイムや家庭学習で習熟の機会を作る。（3・4年）
●声を出して活動することに抵抗を感じている児童がおり、積極性、語彙力に個人差がある。（4・5・6年）	☆ALT の後について復唱したり、ペアで練習を繰り返したりして定着できるようにする。（4・5年） ☆得意な児童と苦手な児童をペアにし、学び合える場の設定を工夫する。（6年）
●アルファベットで自分の名前を正確に書けない児童がいる。（5年）	☆各自のアルファベット表記の名前の練習を繰り返す。（5年）
●人前で英語を話すことに、不安を感じている児童がおり、日本語になってしまうことが多い。（6年）	☆聴く側の反応（リアクション）の指導の工夫を行い、ペアやグループでの発表の場を増やし、自信を持って発表できるようにする。（6年）

6 外部評価（学校運営協議会）

成果	課題
○児童の興味・関心を高める電子黒板やデジタル教科書を利用した授業が見られた。 ○経験のあるALT が、発達段階に応じた教材の工夫（ゲームや身体活動）が見られた。	●マスク姿で発音しているのか分かりづらい子どもがいたので、感染予防をしつつ発音指導等を行ってほしい。 ●授業中の日本語をできる限り減らしてほしい。